

第68回（令和元年度）

彦根市美術展覧会

市展目録

会期 9月8日(日)～9月15日(日)

※9月9日(月)は休館日

時間 9時30分～17時00分

※9月15日(日)は15時00分まで

入場無料

会場  ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町187-4)

日本画	第1・2研修室（メッセホール棟 2階）
洋画	第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）
彫刻	メッセホール（メッセホール棟 3階）
美術工芸	第3研修室（メッセホール棟 2階）
書	メッセホール（メッセホール棟 3階）
写真	展示ロビー・視聴覚室（メッセホール棟 1階）



マークがある作品の写真撮影はご遠慮ください

日本画部門

審査員：林潤一先生

京都府出身 京都市右京区在住



「椿」

1968年 京都市立美術大学修了
シェル美術賞 受賞
1976年 イタリア フレスコ壁画模写
1984年 横の会展
1998年 NEXT 展
2008年 京都府文化賞功労賞 受賞
2009年 京都日本画新展
2019年 京都市文化振興賞 受賞

現在 嵯峨美術大学名誉教授

＜総評＞

昨年に続いて2度の審査であるが、会場の第一印象はしっかり対象と向き合い、力強く繊細に描き込んでいると思った。

写生、観察から自分のイメージを表現されていると思います。

■ 市展賞 ■



「朝陽のカップパドキア」

松居 直子

カップパドキアの風景だと思いますが、画面中央に飛ぶ気球との取り合わせが面白く生きている。



■ 特選 ■

〈彦根観光協会会長賞〉

「生きる喜び」 北村 幸子

鯉が群がる様子を曲線をうまく使いリズム感を表現している。水の描き方にもしっかり観察されたものが現れている。



■ 特選 ■

〈彦根青年会議所理事長賞〉

「饗宴」 早崎 清美

白藤の花の塊が印象深い。花に飛ぶ蜂もやや多いが画面の効果があり、葉と花と盛り上げた幹が調和している。



■ 特選 ■

〈彦根市教育委員会教育長賞〉

「うちのばら」 竹内 歌子

中央にまとめた構成で背景の色もやや気になるが葉や花の調整に好感するが、もう少し明るく表現できないだろうか。

日本画部門

展示場所 : 第1・2研修室 (メッセホール棟 2階)

賞	題 名	氏 名	備 考
市 展 賞	朝陽のカップドキア	松居 直子	
特 選	生きる喜び	北村 幸子	彦根観光協会会長賞
特 選	饗宴	早崎 清美	彦根青年会議所理事長賞
特 選	うちのばら	竹内 歌子	彦根市教育委員会教育長賞
佳 作	街	小島 充子	
佳 作	麗日	牧野 昌代	
入 選	古の洞窟水路	小澤 弘	
入 選	彼岸	志摩 まゆみ	
入 選	高砂百合	長谷川 みよ	
入 選	静穏	澤邊 雅子	
入 選	芙蓉	杉本 恵美子	
入 選	極楽鳥花	杉本 ミサエ	
入 選	額紫陽花	長崎 典子	
入 選	百合	宮崎 富子	
入 選	ネコと遊ぶ	中山 繁樹	
入 選	別れの朝	北村 妙子	
入 選	秋の林道	丸山 リツ子	
入 選	初夏	上池 美智子	
入 選	冬瓜	成内 節子	
入 選	山ごぼう	滝沢 千代子	
入 選	湖北	荒居 年子	
入 選	菜の花	長谷川 祐子	
入 選	新緑の古刹参道	山田 政一	
入 選	街角	いとう けいろう	
入 選	デンドロビウム	馬場 初代	
入 選	春愁	小泉 英子	
入 選	名峰伊吹	山岡 勝	
	春思	立江 恵美	無 鑑 査
	北国の春(こぶし)	本田 充	無 鑑 査
	初夏	熊谷 滋美	無 鑑 査

賞	題名	氏名	備考
	夏の旬野菜	谷村 純子	無鑑査
	赤牡丹	曾我 光博	無鑑査
	椿	林 潤一	審査員
	静かな時間	眞野 康洸	委員
	古木	深田 澄江	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

洋画部門

審査員：天野 富美男 先生

兵庫県出身 兵庫県高砂市在住



「松」

1975年	第61回光風会展奨励賞 受賞
1976年	第62回光風会展光風賞 受賞
1977年	第1回日洋展三越奨励賞 受賞
1986年	第10回日洋展記念大賞 受賞
1993年	第3回兵庫県新進芸術家奨励賞 受賞
1993年	第8回日洋展井出宣通記念賞 受賞
1993年	第25回日展特選 受賞
1994年	高砂市文化奨励賞 受賞
2000年	第32回日展特選 受賞
2004年	第36回日展審査員
2008年	兵庫県文化賞 受賞
2008年	第40回日展審査員
2013年	第45回日展審査員

現在 日展特別会員、日洋展理事・事務局長
ラ・イン会代表、高砂市美術協会会長
神戸芸術文化会議美術部門運営委員
兵庫県洋画団体協議会事務局長

<総評>

作者一人ひとりが自分の選んだ題材にそれぞれの表現で挑戦している姿勢が感じられました。油絵が少なかったのは残念ですが、水彩に魅力的な作品が多くありました。次回も力作を期待します。

■ 市展賞 ■

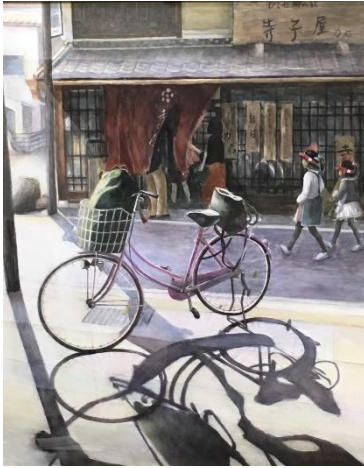


<滋賀県芸術文化祭奨励賞>

「思い出のRadio」

長 豊子

ラジオの裏側に注目し、それをうまく画面構成に生かしています。個々の質感もよく表現されています。



■ 特選 ■

<エフエムひこね賞>

「通り」 山田 博子

暖か味をおびた光、長く伸びた自転車の影。ゆっくりとした時の流れが感じられます。



■ 特選 ■

<滋賀彦根新聞社賞>

「想う」 加藤 みどり

確かな描写力で人物を取りまく空気の緊張感まで伝わってくる作品です。



■ 特選 ■

<NHK大津放送局長賞>

「ひまわり」 小林 知恵子

夏の終わり、盛りをすぎたひまわりを見つめる作者の想いがおさえた色調でよく表現されています。

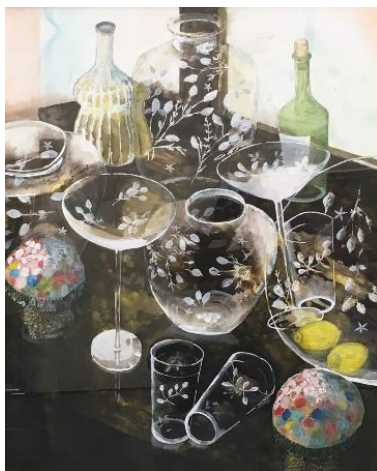


■ 特選 ■

<KBS京都賞>

「水路のある風景」 高田 徳一

全体に透明感のある淡い色調で静かな空気感がよく表されています。



■ 特選 ■

<BBCびわ湖放送賞>

「クリスタル」 百田 勝彦

個々のガラスの表現に作者の苦勞が感じられました。器の模様にもう一つ変化があればよいのですが。



■ 特選 ■

<彦根タイムス社賞>

「赤いドラム缶のある風景」

西村 通子

海岸に雑然と積み上げられた物をていねいによく観察して描いています。



■ 特選 ■

<彦根市議会議長賞>

「静寂」 川本 京子

ハスが繁るお堀をつつむ空気が透明感のある色調でうまく表現されています。

洋画部門

展示場所 : 第1・2リハーサル室 (グランドホール棟 2階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	思い出のRadio	長 豊子	滋賀県芸術文化祭奨励賞
特選	通り	山田 博子	エフエムひこね賞
特選	想う	加藤 みどり	滋賀彦根新聞社賞
特選	ひまわり	小林 知恵子	NHK大津放送局長賞
特選	水路のある風景	高田 徳一	KBS京都賞
特選	クリスタル	百田 勝彦	BBCびわ湖放送賞
特選	赤いドラム缶のある風景	西村 通子	彦根タイムス社賞
特選	静寂	川本 京子	彦根市議会議長賞
佳作	日差しの中を	堀畑 末一	
佳作	白南風	小泉 英子	
佳作	栄華の堀	小林 淑	
入選	秋の山	中野 正雄	
入選	くつろぐ	川口 昭次郎	
入選	何処へ(父島の心象)	木下 二二男	
入選	清しい朝	田島 久子	
入選	Fondちゃん	中野 裕子	
入選	ヨットハーバー	近藤 義人	
入選	朽ちた果実	小城 啓介	
入選	錦秋一本	田村 欣実	
入選	逆光のソテツ	平塚 満里	
入選	カナダを旅して	大橋 好子	
入選	未知との遭遇	宮地 正子	
入選	キャンパスの秋	馬淵 万智子	
入選	お気に入り	藤野 恵子	
入選	おねえちゃんといっしょ	若林 一男	
入選	登り窯	青根健二	
入選	烏瓜	執行 明美	
入選	アジサイ	相川 弦一郎	
入選	雨の街角	小林 淳二	
入選	卓上静物	今村 栄子	

賞	題名	氏名	備考
入選	孔雀サボテン	山本 純子	
入選	回復、枝垂れ桜	廣瀬 巖	
入選	凝視の先・何を見る	夏川 郁子	
入選	近江線の踏切り	塩谷 雅子	
入選	早春の伊吹山 三島池より	伊藤 寿美江	
入選	奥飛騨	加納 玲子	
入選	全員集合!!	松林 憲一	
入選	プールに連れてって!	澁谷 ふみ子	
入選	カボチャの競演	原 薫	
入選	蒼海の冒険者	高橋 悠輝	
入選	たぬき	野坂 喜則	
入選	光の中で	小松原 正二	
入選	西の丸、元和から令和へ	宮田 治男	
入選	トコちゃんに	荻田 明美	
入選	昔を懐かしむ	碓井 静子	
入選	春の駅	杉原 慧子	
入選	ポピー	川瀬 加代子	
入選	おるすばん	瀬戸口 園子	
入選	春の竹林	小山 信子	
入選	彼方へ	清水 悦子	
入選	昼下り	竹原 貞子	
入選	お茶しませんか	宮川 さと子	
入選	青い風	上田 和光	
入選	秋の伊吹山	太田 靖之	
入選	波と遊ぶ	中山 ます江	
入選	呼びかけ	一道 万羅	
入選	なまずの水しぶき	湯沢 零司	
入選	太田川に咲く	目戸 てるよ	
入選	玄関の華（スモークツリー）	関 壽賀子	
入選	蔵	古野 信雄	
入選	深想	川村 嘉則	
入選	里帰り	八木 清子	

賞	題名	氏名	備考
入選	待春の伊吹山	北川 彰	
入選	Nさん	川崎 みどり	
入選	石跡	竹田 建行	
入選	絵日記	西野 みどり	
入選	小さい秋	兒玉 照子	
入選	真夏の散策	村中 弘治	
	早春の奥伊吹	土田 由一	無鑑査
	夏の終わり	福原 善行	無鑑査
	夏のわさび田	北川 晴子	無鑑査
	夜の詩	門野 三喜重	無鑑査
	特別な日に	菅森 菜穂子	無鑑査
	お気に入り	久田 知恵子	無鑑査
	カサブランカの咲く頃	北川 八恵子	無鑑査
	千曲市郊外の春	西澤 廣子	無鑑査
	ササエル	土屋 幸	無鑑査
	晩夏の白	西脇 操	無鑑査
	不確かな認識	小田柿 寿郎	無鑑査
	季のうつろい	小田柿 弘子	無鑑査
	香り漂う並木道	百々 修子	無鑑査
	調理の前	吉岡 たみ子	無鑑査
	電気機関車ED	今井 博子	無鑑査
	美しい人	江竜 美子	無鑑査
	過ぎた日	吉内 隆夫	無鑑査
	波切漁港	比喜多 利彌	無鑑査
	Circle	久川 邦代	無鑑査
	松	天野 富美男	審査員
	斜陽の丘	嶋貫 佑一	委嘱
	花	佐渡 一清	委員
	薊	押谷 たか子	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

彫刻部門

審査員：宇治川 久司 先生

京都府出身 京都市右京区在住



「夕焼け小焼け」

1984年 第16回日展 特選受賞
1986年 第18回日展 特選受賞
1991年 第43回京展 審査員
1994年 第26回日展 審査員
2000年 アートヒル三好ヶ丘
彫刻フェスタ 特選受賞
2008年 文化庁在外研修（イタリア）
現在 公益社団法人日展
特別会員・審査員
日本美術家連盟 会員
京都精華大学 講師

<総評>

塑像・木彫・陶彫と様々な作品が出品されましたが、出品数が少なくなったのが残念です。立体作品の制作は少し手ごわいですが、可能性は無限にあります。みなさんのアイデアを生かして夢を持って取り組んで下さい。



■ 市展賞 ■

「恐竜」 三浦 正夫

素材を生かし、ダイナミックに空間構成がされています。過去にも作者の作品を見せていただきましたが、技量の高まりが伝わる力作です。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「初夏に」 森 武司

人体の優しさや温かさが感じられます。
製作上、複雑な形態ですがそれを形にできる力
を持っておられます。

彫刻部門

展示場所 : メッセホール (メッセホール棟 3階)

賞	題 名	氏 名	備 考
市 展 賞	恐竜	三浦 正夫	
佳 作	自由の空へ	藤本 喜一郎	
入 選	粘土のお花	宮川 久枝	
無鑑査奨励賞	初夏に	森 武司	無 鑑 査
	蓮華	一円 敏彦	無 鑑 査
	風の詩	田中 亨	無 鑑 査
	夕焼け小焼け	宇治川 久司	審 査 員
	湖の日	志萱 州朗	委 員
	打上げ花火	小谷 政雄	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しております。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

美術工芸部門

審査員：坂部 信子 先生

愛知県出身 愛知県岡崎市在住

1975年	きりえ創作はじめる
1980年	各地にて個展開催 以降毎年開催
1981年・1986年	全国きりえコンクール最優秀作品受賞 入賞多数
1986年～2015年	岡崎市美術展工芸部門審査員
1996年	タイ国立美術館にて2人展開催（バンコク）
2005年	愛知万国博地球市民村に「生きる喜び」出品
2006年	第21回国民文化祭やまぐち きりえ部門審査員
2009年～	日本きりえ協会きりえ講師養成講座講師担当 (第1～4回)

2019年 富士川切り絵の森美術館企画展「生きる喜び」



「涅槃像（インド アジャンターにて）」

現在 日本きりえ協会常任委員
東海きりえ美術会代表
岡崎葵リブラ きりえ講師
中国・インド・ネパール・ブータン等アジアを題材とした作品を多く手掛け、近年はアジアを見た観点から日本を題材としてのきりえ作品を創作

<総 評>

出品数が少し減りましたが、中には努力の跡が伝わる作品もあり、良かったと思います。工芸美術の分野は多岐にわたりますが、それぞれをもっと工夫して、新分野も開拓してほしいと考えます。又、来年を期待しています。



■ 市展賞 ■

「彦根屏風 第六扇 検校」

國門 登美恵

検校の厳しさ、悲しさ等が、作品からじわっと伝わります。立体としても、すべての方位から見事です。



■ 特選 ■

〈彦根ロータリークラブ会長賞〉

「花菖蒲」 中島 暉枝

布の様々な種類を使って作品づくりをしています。紫白黄とバランス良く、指色の赤も美しいです。



■ 特選 ■

〈彦根南ロータリークラブ会長賞〉

文化刺繍 「あっち、あっち」

古川 勇

文化刺繍の魅力が伝わります。水鳥の動きがあり、色のグラデーションの妙がさすがです。



■ 特選 ■

<彦根商工会議所会頭賞>

「一期一会」あなたのことはわすれない
由田 文雄

よく作品を見ると、おもしろい発想で
「あなたのことをわすれない」とありま
す。楽しい発想です。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「水の影」 北村 久美子

大作ですが、すっきりとまとまっていて力作
です。みていると水のゆらめきを感じて美しい
です。

美術工芸部門

展示場所 : 第3研修室 (メッセホール棟 2階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	彦根屏風 第六扇 検校	國門 登美恵	
特選	花菖蒲	中島 暉枝	彦根ロータリークラブ会長賞
特選	文化刺繍 「あっち、あっち」	古川 勇	彦根南ロータリークラブ会長賞
特選	一期一会 (あなたのことはわすれない)	由田 文雄	彦根商工会議所会頭賞
佳作	井上真央像	秋口 亭々	
入選	靱アート令和	松宮 臣道	
入選	唐衣	曾我 伸子	
入選	桔梗紋入り鉄錆地二十四間筋兜	山口 四郎	
入選	白樺の灯り	中川 幸恵	
入選	おひつ	喜久川 喜美代	
入選	お城と桜(クロスステッチ)	西川 たつ子	
入選	彩	田井中 新次	
入選	押絵羽子板(連獅子)	山川 美江	
入選	生活の中の籠達(本朱塗り箔絵) 「異なるアプローチで」	坂田 勝朗	
入選	あかり(銅鐸)	平田 昭	
入選	面	山口 省二	
入選	トラ	北川 清達	
入選	椿の記念撮影	渋谷 陽介	
入選	溪流の秋	古野 信子	
入選	龍	山口 圭三	
入選	文箱(根来塗)	岩泉 三朗	
無鑑査奨励賞	水の影	北村 久美子	無 鑑 査
	桜と富士山	谷本 佳代子	無 鑑 査
	杜の風景	いとう けいろう	無 鑑 査
	ひょうたん	舟越 弘子	無 鑑 査
	先生おめでとう	川端 澄代	無 鑑 査
	切り絵 アンズリウム	山本 勝彦	無 鑑 査
	涅槃像 (インド アジャンターにて)	坂部 信子	審 査 員
	伸びろ	佐々 哲三郎	委 員
	続く道	河嶋 維久子	委 員

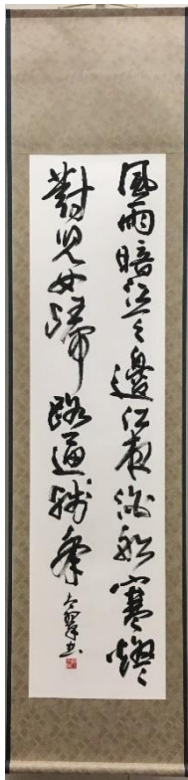
※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

書部門

審査員：細川 太翠 先生

兵庫県出身 兵庫県豊岡市在住



「風雨」

2010年 第28回読売書法展読売新聞社賞受賞
第43回日展 入選

2012年 第45回日展 入選

2017年 第71回日本書芸院展 史邑賞受賞

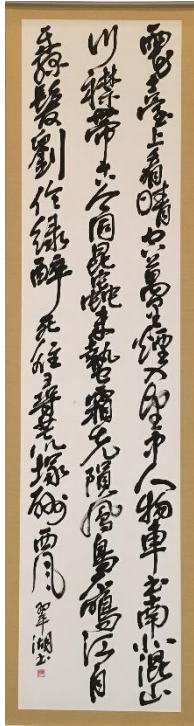
2018年 第53回兵庫県書道展 委員大賞受賞

2019年 第73回日本書芸院展 史邑賞受賞

現在 読売書法会 理事
日本書芸院 一科審査員
兵庫県書道展 委員・審査員
青潮書道会 常任理事・審査会員
風信書道会 副会長

<総評>

漢字、かな、漢字かな交じり等、多様な表現が見られ、それぞれが確りと古典に立脚していることも窺われ、審査をしながら好感を持ちました。市展としてかなり高い水準にあるのではないかと思います。



■ 市展賞 ■

「趙孟頫詩」 柴田 翠湖

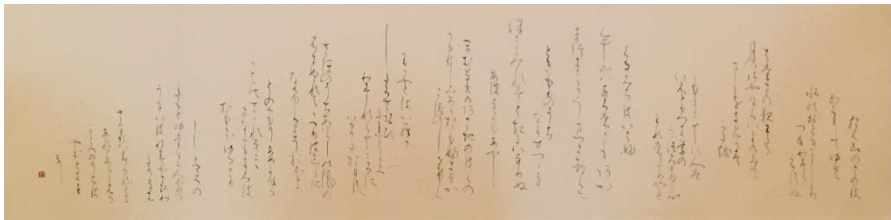
各文字の確かさと、力強い縦の流れ、各行の響き合いも表現できた優秀な作品です。

■ 特選 ■

〈彦根ライオンズクラブ会長賞〉

「さざれなみ」 田中 利佳

作品が単調にならないように造形配置に起伏を持たせ、美しいムードが漂っています。



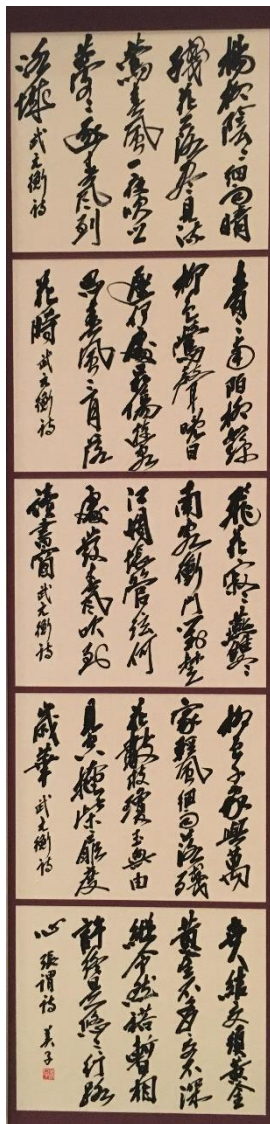
■ 特選 ■

〈平和堂財団理事長賞〉

「唐詩五首」

江竜 美子

多字数が統一感のある中で、適所での大胆な造形や筆づかいが作品のハイライトとなりました。



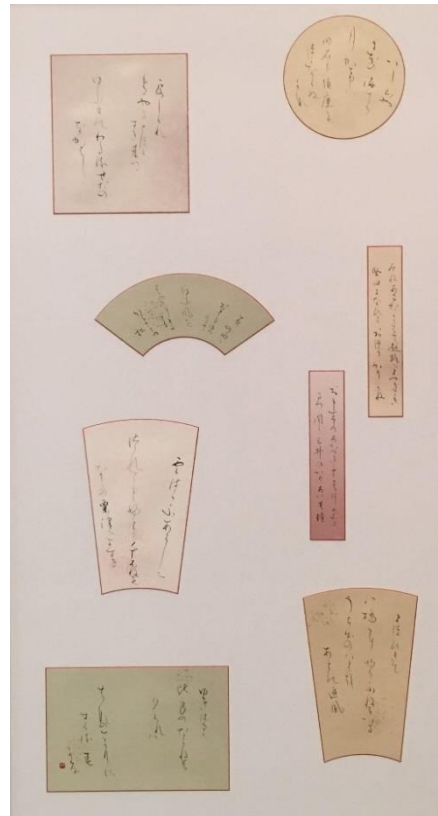
■ 特選 ■

〈彦根文化新聞社賞〉

「近江八景」

前川 房子

各葉の確かな造形美もさることながら、多様な形式が見られる楽しい作品です。





■ 特選 ■

〈国際ソロプチミスト彦根会長賞〉

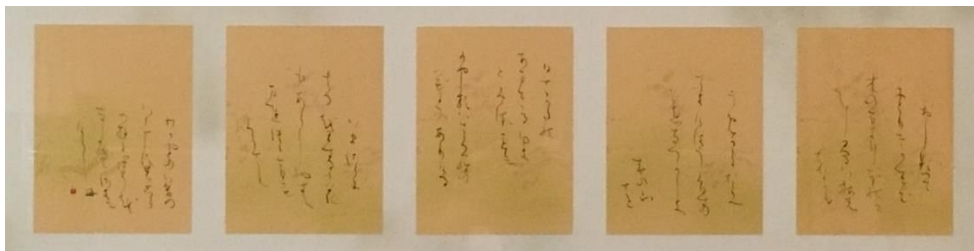
「李白の詩」 細溝 恵

筆づかいをはじめとした技巧にすぐれ、大胆なまとめが功を奏した作品です。

■ 無鑑査奨励賞 ■

「うめの花」 岡野 有泉

無鑑査の各作家が自立した表現を見せる中、五葉が統一感を損なわないまとめ方に目を引かれました。



書部門

展示場所 : メッセホール (メッセホール棟 3階)

賞	題 名	氏 名	備 考
市 展 賞	趙孟頫詩	柴田 翠湖	
特 選	さざれなみ	田中 利佳	彦根ライオンズクラブ会長賞
特 選	唐詩五首	江竜 美子	平和堂財団理事長賞
特 選	近江八景	前川 房子	彦根文化新聞社賞
特 選	李白の詩	細溝 恵	国際ソロプチミスト彦根会長賞
佳 作	正岡子規のうた	杉本 清子	
佳 作	南郡歌	筒井 和彦	
佳 作	蔣深詩	徳山 清奈	次世代芸術奨励賞
佳 作	臨黃庭堅	井田 春菜	次世代芸術奨励賞
入 選	清詩五首	近藤 暁彦	
入 選	李白詩	佐野 美千子	
入 選	杜牧詩	小堀 勝子	
入 選	「偶成」(小川射山の詩)	河口 真弓	
入 選	司空図詩より	小城 美奈	
入 選	臨懷素千字文	北川 結海	
入 選	臨吳熙載	岡田 琴実	
入 選	臨乙瑛碑	岡田 遥那	
入 選	臨美人董氏墓誌銘	足立 香南	
入 選	条副	西川 たつ子	
入 選	四書の『大学』より	杉野 澄子	
入 選	井伊直弼公御歌 柳のしづく	平居 圭子	
入 選	直弼公の御うた一首	佐藤 和子	
入 選	日下部鳴鶴詩	諸岡 富美子	
入 選	直弼公の御うた一首	小森 寿美江	
入 選	千字文より	外村 房子	
入 選	木俣修のうた	高井 泰子	
入 選	李白詩	小林 由喜枝	
入 選	高啓の詩	疋田 礼子	
入 選	岳陽晚景	遠藤 啓子	
入 選	朱國祚詩	遠矢 香鈴	

賞	題名	氏名	備考
入選	近江八景	竹山 知代子	
入選	李白	上條 翠波	
入選	啄木の詩	田中 八重子	
入選	良寛のうた	村岸 恵美	
入選	歲月不待人	成宮 まき	
入選	許子遜詩白菊	川村 圭子	
入選	史記屈原伝	森 直子	
入選	(漢詩)張継詩(月落烏啼…)	西川 一男	
入選	李白詩	押谷 曜子	
入選	杜審言詩	福井 佳城	
入選	西風	大野 義孝	
入選	沈丁花	山下 勇	
無鑑査奨励賞	うめの花	岡野 有泉	無鑑査
	沈黙	山田 祥代	無鑑査
	「すこやかに」(谷川俊太郎詩より)	堤 豊宏	無鑑査
	田舎	北川 依子	無鑑査
	子は親の鏡	内西 謹子	無鑑査
	垂竿磯	高萩 有子	無鑑査
	令和	後藤 有啓	無鑑査
	海月澄無影	松田 芳雨	無鑑査
	朱熹詩	森野 椿草	無鑑査
	百千鳥	堤 笑子	無鑑査
	萬葉集より	西脇 大雄	無鑑査
	平安是福	押谷 達彦	無鑑査
	令和	川村 啓子	無鑑査
	風雨	細川 太翠	審査員
	小倉百人一首より	安居 孝昌	委員
	貢性之詩	中村 哲	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

写真部門

審査員：原田 文裕 先生

徳島県出身 大阪府八尾市在住



「一閃遭遇」

2009年 瑞宝単光章 受賞
2018年 グループ展「第16回彩雅草展」
2018年 グループ展
「第3回オールドレンズクラブ展」
2019年 原田文裕写真展（10月予定）

現 在

大阪府写真技能士主席検定委員
公益社団法人日本広告写真家協会
学術会員
一般社団法人日本写真文化協会 会員
アート集団 彩雅草 代表
学校法人 日本写真映像専門学校 前校長

<総 評>

出展作品にモチーフの豊かさ、多彩な感性を感じました。継続は力也、写真への拘りを強めると更に素晴らしく深化するでしょう。

ネイチャーが多く、人物、スナップ写真が少ないのは、近年の社会情勢によるものでしょうか？



■ 市展賞 ■

「ある光景」

三竿 恵理子

ハッとする光景。カラフルな飛行機に人、天候と撮影条件・・・と様々な条件が揃った見事な作品。作者の拘りと熱意を感じます。



■ 特選 ■

<朝日新聞社賞>

「二十歳の初春」 越智 重春

菜花と雪の被った山並の絵に振袖姿の女性たちの加わり、一層物語が深まりました。秀逸の作品。



■ 特選 ■

<毎日新聞社賞>

「雨霞の春」 藤居 治行

山里の雨後の和かな光、桜に竹、遠景の山稜等の淡い色彩、霧によるディテールの省略、日本画的表現が見事です。



■ 特選 ■

<彦根金亀ライオンズクラブ会長賞>

「LOVE」 村田 朝男

蝶の生態を見事に捉えております。背景処理・色彩効果も良く、シンプルな表現が功を奏しました。

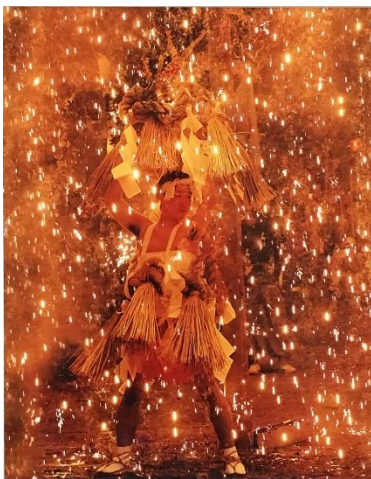


■ 特選 ■

<稲枝商工会会長賞>

「べっぴんさん」 小財 郁男

日本髪、化粧、顔の高さと向きに表情、夏衣・・・とよく揃ったものです。さわやかで涼しげな描かれた美人画のようです。



■ 特選 ■

<読売新聞社賞>

「男の火祭」 小林 正治

独特の祭り装束で仁王立ちの男性と一面に点在する火の粉が見事です。ストレートで力強い魅力を感じます。



■ 特選 ■

<中日新聞社賞>

「湖上の宴」 瀧波 博之

的確なフレーミングで様々な花火がうまくレイアウトされております。華やかに表現された夏の饗宴。好ましい作品です。

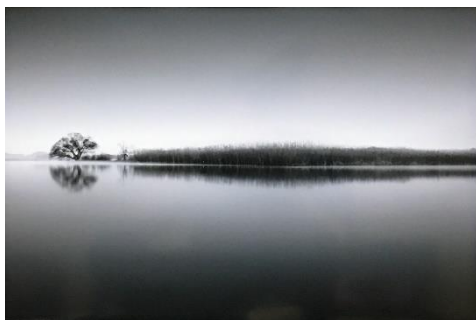


■ 特選 ■

<産経新聞社賞>

「サハラに行く」 青木 宏樹

赤茶けた砂漠を行くラクダの隊列を先導者と先頭のラクダの一部、最小限の実像と影での表現が効果的です。



■ 特選 ■

<京都新聞賞>

「幽寂閑雅」 杉谷 真人

モノクロ表現により清冽さが強調されたシンプルで美しい作品。タイトルに込めた作者の意図が伝わります。

■ 無鑑査奨励賞 ■



「朝霞」 池田 誠

朝の湖上の光景でしょうか？モノクロ表現にメタリックプリントのベストマッチ。興味が深まる作品。

写真部門

展示場所 : 展示ロビー・視聴覚室 (メッセホール棟 1階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	ある光景	三竿 恵理子	
特選	二十歳の初春	越智 重春	朝日新聞社賞
特選	雨霞の春	藤居 治行	毎日新聞社賞
特選	LOVE	村田 朝男	彦根金亀ライオンズクラブ会長賞
特選	べっぴんさん	小財 郁男	稲枝商工会会長賞
特選	男の火祭	小林 正治	読売新聞社賞
特選	湖上の宴	瀧波 博之	中日新聞社賞
特選	サハラを行く	青木 宏樹	産経新聞社賞
特選	幽寂閑雅	杉谷 真人	京都新聞賞
佳作	街角	小菅 正一	
佳作	燐光	大谷 靖夫	
佳作	壮烈	青山 敬子	
入選	城濠の桜	森下 繁雄	
入選	黄昏のひとつき	北村 圭子	
入選	うつやか	藤野 保	
入選	晩秋の三島池	沢田 初枝	
入選	草の間に凜として	田中 勇	
入選	がんだて三ツ滝	河分 武士	
入選	森の旋律	強力 美津雄	
入選	静寂に写る花	正木 喜八郎	
入選	ふたりの時間	下島 耕治	
入選	万燈。龍舞	砂崎 進	
入選	麗らか	菅野 哲郎	
入選	刻	福原 節彰	
入選	Escort	若松 庄三	
入選	雨もよう	北村 隆彦	
入選	令和の釣人	田島 龍幸	
入選	苔の花	竹山 兵三	
入選	毅然として	疋田 弥栄子	
入選	虹しぶき	本田 義則	

賞	題 名	氏 名	備 考
入 選	夜間飛行	武田 繁康	
入 選	祈り	平田 芳美	
入 選	演技を終えて	高村 利和	
入 選	なかよし	鈴木 栄子	
入 選	夏の煌き	大橋 好子	
入 選	超緊張	新谷 教子	
入 選	sky high	津田 吉彦	
入 選	蓮ビオトープ	吉原 正興	
入 選	桜満開の並木道	桂川 知富	
入 選	花馬駆けのぼる	小川 武司	
入 選	ファンタジー	湯浅 由美子	
入 選	待機	清水 哮	
入 選	ロックシェッド行く	高橋 勲	
入 選	霜月	白井 展枝	
入 選	惜春	高田 徳一	
入 選	初夏の立山	白井 逸人	
入 選	湯水の頃	岸辺 剛	
入 選	のんびり過ごそうよ。	二階堂 登美子	
入 選	姉弟	夏川 宗一	
入 選	七匹の絆の輪	門野 久昭	
入 選	滑降	小林 佳代	
入 選	花に憩う	堀江 豊	
入 選	水辺の渦	福本 和男	
入 選	宇宙遊泳	清水 博	
入 選	清涼を浴びて	久木 康裕	
入 選	まんどろ火祭り	藤野 直子	
入 選	勇姿	南部 輝子	
入 選	トライアングル	池淵 淳	
入 選	蜜を求めて	西村 芳治	
入 選	微風	宮西 新市	
入 選	輝き こぼれて	渡邊 昭夫	
入 選	涼	保永 重治	

賞	題名	氏名	備考
入選	夕陽	北村 秀世	
入選	過ぎ行く夏	田中 松子	
入選	森の長老	西村 鉄夫	
入選	きずな	小林 伊三夫	
入選	3姉妹	加納 久男	
入選	ミサゴの狩り	高橋 與志勝	
入選	お姉ちゃんだよ、よろしく！	西村 和子	
入選	水の妖精	伊吹 章	
入選	朝の光	山口 銀治	
入選	春の風物詩	近野 光生	
入選	薄化粧	近野 恭美	
入選	炎 立つ	北川 良治	
入選	森のステージ	河崎 彰	
入選	朝焼けの漁	辰巳 敬造	
入選	街角	田中 信義	
入選	洞察	了戒 裕視	
入選	残雪	馬淵 捨次郎	
入選	ドラマチックな朝	山添 嘉次	
入選	飴色の晩秋	大橋 眞紀	
入選	瞬光彩る浮島	中村 薫	
入選	デート	元持 誠	
入選	新緑が映える	石井 勝男	
入選	錦秋の溪流	居原田 順治	
入選	小休止です	北川 蓉子	
無鑑査奨励賞	朝霞	池田 誠	無 鑑 査
	明日に向かって	北川 剛	無 鑑 査
	風止んで	大前 岳雄	無 鑑 査
	びわ湖の夕映え	伊藤 治	無 鑑 査
	晩秋	武田 吉正	無 鑑 査
	夕景の棚田	塩谷 勉	無 鑑 査
	花はすの里	相田 行雄	無 鑑 査
	万灯祭	和田 正吾	無 鑑 査

賞	題名	氏名	備考
	熱中	大久保 和彦	無鑑査
	時刻む	小椋 俊道	無鑑査
	参道暮色	石丸 孝	無鑑査
	夕映えの生け簀	若林 武司	無鑑査
	蓮池の春	佐竹 鉄次郎	無鑑査
	夢幻界	鈴木 秀人	無鑑査
	仏山の朝光	北村 勝	無鑑査
	雉羽ばたく	三島 康嗣	無鑑査
	一閃遭遇	原田 文裕	審査員
	霧の霧氷林	中村 一雄	委員
	裏通り	山口 善一	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

<出品数>

(点)

	一 般	無 鑑 査	審 査 員 等	計
日 本 画	27	5	3	35
洋 画	68	19	4	91
彫 刻	3	3	3	9
美術工芸	21	6	3	30
書	42	13	3	58
写 真	126	16	3	145
計	287	62	19	368

*「無鑑査」…過去に市展賞または特選を3年連続受賞、もしくは通算で5回受賞された方です。無鑑査の方の出品作品は、審査員の審査を受けることなく展示されます。

<入賞および入選数>

(点)

	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査 奨励賞	計
日 本 画	1	3	2	21	0	27
洋 画	1	7	3	57	0	68
彫 刻	1	0	1	1	1	4
美術工芸	1	3	1	16	1	22
書	1	4	4	33	1	43
写 真	1	8	3	74	1	87
計	6	25	14	202	4	251

*「無鑑査奨励賞」…無鑑査作品の中で最も優秀な作品に贈られる賞です。

<審査員および委員>

(敬称略・順不同)

	審 査 員	委 員
日 本 画	林 潤 一	眞野 康洸 深田 澄江
洋 画	天野 富美男	佐渡 一清 押谷 たか子
彫 刻	宇治川 久司	志萱 州朗 小谷 政雄
美術工芸	坂部 信子	佐々 哲三郎 河嶋 維久子
書	細川 太翠	安居 孝昌 中村 哲
写 真	原田 文裕	中村 一雄 山口 善一

第68回(令和元年度)彦根市美術展覧会

芸術の秋！彦根市美術展覧会では彦根市および近隣市町の皆さんから作品を公募し、審査を経た力作を多数展示しています。

芸術の秋にふさわしい、美術作品をぜひお楽しみください。

展覧会

会期
会場

9月8日(日) ~ 9月15日(日) ※9月9日(月)は休館日

9:30 ~ 17:00 ※9月15日(日)は15:00まで

入場
無料

 **彦根市文化プラザ** (彦根市野瀬町187-4)

部門

日本画・洋画・彫刻・美術工芸・書・写真

表彰式

9月14日(土)

【時間】10時00分～ 【会場】エコーホール

表彰式では、市展賞をはじめ、入賞された皆様を表彰します。

【市展賞、特選、佳作、次世代芸術奨励賞(29歳以下の入賞者が対象)、無鑑査奨励賞】



作品鑑賞会

9月14日(土)

【時間】11時15分～ 【会場】各部門展示会場

表彰式終了後、各展示会場にて出品者の方による作品鑑賞会を行います。

主催：彦根市、彦根市教育委員会

後援：彦根市議会、彦根商工会議所、稲枝商工会、公益社団法人彦根観光協会、
公益社団法人彦根青年会議所、彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、
彦根ライオンズクラブ、彦根金亀ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト彦根、
公益財団法人平和堂財団、 大津放送局、 KBS京都、
朝日新聞大津総局、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞、
産経新聞社、彦根文化新聞社、彦根タイムス社、滋賀彦根新聞社、
エフエムひこねコミュニティ放送株式会社



文化で滋賀を元気に!



<順不同>

彦根市美術展覧会事務局(彦根市教育委員会事務局 文化振興室)
〒522-0001 彦根市尾末町1-38
彦根市民会館1階
TEL. 0749-23-7810 FAX. 0749-21-3080

世界
遺産

未来へのこそう!
彦根城を世界遺産に!